

「ちばエコ農産物」栽培のために！ (品目別栽培カード 26)



カボチャ・トンネル栽培

千葉県農林水産部

1 栽培基準

カボチャの「ちばエコ農産物」の栽培基準は、トンネル栽培と露地栽培で設けられています。トンネル栽培における化学合成農薬の使用成分回数と化学肥料使用量（窒素成分量）は、表1のとおりです。



▲トンネル栽培

表1 カボチャ・トンネル栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準

(平成22年7月現在)

作型	上 限 量		堆肥目安量(kg/10a)			
	化学合成農薬 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分kg/10a)	牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり 的堆肥
トンネル	6	8	1,600	600	400	2,000

2 栽培基準達成のポイントと考え方

1 病虫害防除

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した薬剤防除例を表2に示します。

病虫害防除では、まず、病虫害の発生状況を観察し、防除する必要がある病虫害を把握しておくことが重要です。カボチャ栽培で最も重要な病虫害はうどんこ病で、育苗期から発生がみられます。その他に、生育初期にアブラムシ類、交配期以後に雨が多い年には疫病の発生もみられます。

化学合成農薬を削減するためには、ジーファイン水和剤、ハーモメイト水溶剤等の天然由来成分の農薬や、インプレッション水和剤等の微生物農薬を活用することが必要です。

表2 カボチャ・トンネル栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した農薬防除例

処理時期	主要作業	農薬名	10a当たり使用量 (希釈倍数等)	対象病虫害	備考
	土壌消毒	D-D	15~20L	ネコブセンチュウ	発生に応じて使用
3月中旬	育苗	※インプレッション水和剤	500倍	うどんこ病	
3月下旬	定植	モスピラン粒剤	1g/株	アブラムシ類	
4月上旬		※インプレッション水和剤	500倍	うどんこ病	
4月下旬	交配	※インプレッション水和剤	500倍	うどんこ病	
5月上旬		ベルコート水和剤	1,000~2,000倍	うどんこ病	
5月中旬		リドミル銅水和剤	800倍	疫病	発生に応じて使用
		※ジーファイン水和剤	750~1,000倍	うどんこ病	発生に応じて使用
6月上旬		※ジーファイン水和剤	750~1,000倍	うどんこ病	発生に応じて使用
6月中旬	収穫				

注1) ※印は、「ちばエコ農業」における化学合成農薬に含めない農薬

2) リドミル銅水和剤とジーファイン水和剤は、ともに銅を含む農薬なので、過度の連用や近接散布は避ける

A 圃場準備と育苗期 ～育苗時は防虫網で殺虫剤を減らす～

●ネコブセンチュウは防除が必要

カボチャは、ネコブセンチュウの被害を受けやすいので、前作で根こぶが認められたら、D-Dによる土壌消毒を行います。

●育苗ハウスは防虫網で害虫の侵入防止

防虫網を育苗ハウス開口部に被覆し、アブラムシ類やコナジラミ類の侵入を防ぎます。ただし、育苗中にアブラムシ類の発生が認められたら、ウイルス病予防のため、直ちにモスピラン水溶剤等で防除します。

うどんこ病の予防には、化学合成農薬に含まれないインプレッション水和剤を使用します。



▲育苗ハウス開口部の防虫網

B 定植から交配期 ～病害虫の発生を観察して、過剰な農薬散布を回避する～

●定植時には粒剤を施用

生育初期に、アブラムシ類やコナジラミ類等の微小害虫が寄生すると生育が不良となったり、ウイルス病が発生したりするので、交配期までは確実に防除します。定植時にこれらに効果の高いモスピラン粒剤を施用することで、交配期まで害虫の多発を抑えられます。交配期以降に発生したアブラムシ類の防除は必要ありません。

●うどんこ病は発生前に予防的に散布

うどんこ病は、2週間おきにインプレッション水和剤を散布して、予防に努めます。薬剤散布に際しては、葉裏までしっかりと薬剤がかかるように、丁寧に散布することが肝要です。交配期までにうどんこ病の初発が確認されたら、直ちにベルコート水和剤を散布します。



▲うどんこ病の被害

C 栽培後期 ～収穫物への影響を考慮し適期防除を行う～

●うどんこ病は栽培後期まで防除

発生の程度に応じて、2週間おきにジーファイン水和剤、ハーモメイト水溶剤もしくはカリグリーンを1～2回散布します。

●疫病には排水対策と予防散布が効果的

前年に疫病が発生した圃場では、排水対策をしっかりと行って圃場を乾かすとともに、果実がまだ柔らかく小さいときは、リドミル銅水和剤を降雨前に予防散布します。なお、ジーファイン水和剤やリドミル銅水和剤などの銅を含む農薬は、近接散布すると葉に薬害が発生することがあるので、注意が必要です。

●農薬の使用に当たっては、各薬剤の収穫前使用可能日数を厳守

カボチャでは、リドミル銅水和剤は収穫14日前まで、ベルコート水和剤は収穫7日前までが使用の期限です。農薬を使用する前には、使用基準を必ず確認します。



▲ちばエコ基準で栽培されたカボチャ

2 施肥と土づくり

「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例を表3に示します。堆肥による土づくりに加えて、有機質肥料の施用により、「ちばエコ農産物」の栽培基準の達成が可能です。

なお、表3の施肥例は主要農作物等施肥基準（平成21年、千葉県）の施肥量に準じていますが、各圃場の施肥量は土壌診断に基づいて決めます。

また、登録名称内に「有機」などの文字が記載された肥料であっても、化学肥料由来の窒素を含んでいることが多いので、JAまたは肥料販売業者に問い合わせ、有機質由来と化学肥料由来の窒素の割合を把握しておく必要があります。

表3 カボチャ・トンネル栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例

区分	製品名	保証成分量(%)			現物施用量 (kg/10a)	成分施用量(kg/10a)		
		窒素	りん酸	加里		窒素	りん酸	加里
堆肥	牛ふんもみがら堆肥				1,600			
基肥	マイルドユーキ030号	10(4.7)	13	10	135	13.5(6.3)	17.6	13.5
	熔りん		20		50		10.0	
	苦土石灰				100			
追肥	燐硝安加里 S552	16(16)	10	14	10	1.6(1.6)	1.0	1.4
総施用量						15.1(7.9)	28.6	14.9

注) () 内は、総窒素量のうち、化学肥料由来の窒素成分量

☆この「品目別栽培カード」に記載した農薬・肥料使用例は、平成21年度現地実証試験時点のものです。実際の農薬使用に際しては、ラベルの表示をよく確認するとともに、最新の農薬使用基準を守って使用してください。
なお、栽培基準は平成22年7月改訂後のものを記載しています。

- 著 作 千葉県農林水産部担い手支援課
千葉県農林総合研究センター
- 編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課
- 発行年月日 平成23年1月

■内容についての問い合わせ先
千葉県農林総合研究センター
TEL. 043(291)9987